

sawai

沢井製薬株式会社

証券コード 4555

第68期 株主通信

2015年4月1日～2016年3月31日

サワイ
ジェネリック
Since 1965

なによりも患者さんのために



企業理念

なによりも患者さんのために

1

「真心をこめた医薬品を通じ、
人々の健やかな暮らしを実現する」
それがsawaiの使命です。

2

「創造性を追求し、革新と協調により
社会と共に成長する」
それがsawaiの挑戦です。

3

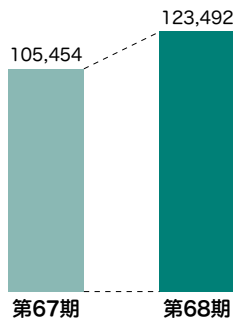
「お役に立ちたいという心を持ち、
なくてはならない存在になる」
それがsawaiの願いです。

第68期のハイライト

売上高

ジェネリック医薬品使用促進策の
効果により引き続き需要が拡大し、
売上高は前期比17.1%増加し、
ほぼ計画通りとなりました。

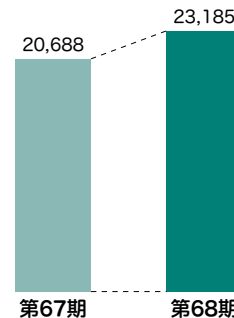
(百万円)



営業利益

売上高の増加に加えて
販売管理費の未消化もあり、
前期比12.1%増加して、
計画を5.4%上回りました。

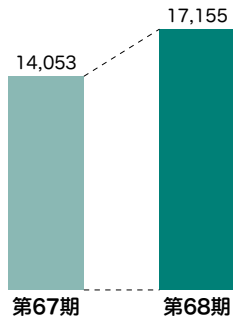
(百万円)



当期純利益

親会社株主に帰属する当期純利益は、
前期比22.1%となり、
計画を10.7%上回りました。

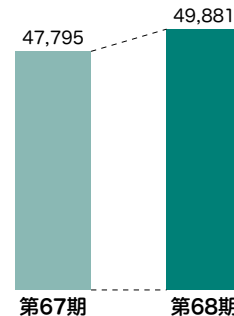
(百万円)



収載品年度別売上高

前年度に引き続き2009年度以降
収載品の売上高は、
順調に増加しました。

(百万円)



中期経営計画「M1 TRUST 2018」の 基本方針にそって、各部門が掲げた施策に 積極的に取り組みました。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第68期の株主通信をお届けするに当たり、2016年4月14日より発生している「平成28年(2016年)熊本地震」において被災された方々に、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

当社の九州工場、第二九州工場に人的・物的被害はなく、通常通りの操業を行っています。また、熊本営業所は建物が一部破損しましたが、福岡支店と連携し業務対応を行っています。

第68期におけるジェネリック医薬品業界においては、2014年4月の政府によるジェネリック医薬品使用促進策の効果が持続し、需要拡大が続きました。2015年6月末には、ジェネリック医薬品の数量シェア目標として「2017年次に70%以上とするとともに2018年度から2020年度末までの間のなるべく早い時期に80%以上とする」ことが閣議決定されました。これらの政府方針の下、2016年度診療報酬改定ではさまざまなジェネリック医薬品の使用促進策が盛り込まれました。

その一方、薬価制度改革では新規収載ジェネリック医薬品の薬価が大幅に引き下げられ、業界にとって大変厳しいものとなりました。

このような状況下、当社グループは、2015年5月に公表した中期経営計画「M1 TRUST 2018」の基本方針にそって、さまざまな施策に取り組みました。

生産・供給体制面においては、2015年4月に、田辺三菱

製薬工場株式会社の鹿島工場を譲り受け稼働を開始するとともに、さらなる生産能力増強を目指した設備投資を開始しました。また、9月には新たな包装工場である三田西工場の建設に着手しました。

製品開発・販売面においては、6月の5成分10品目、12月の9成分15品目の新製品に続き、2016年3月に男性型脱毛症用薬フィナステリド錠「サワイ」を上市しました。また、11月には製品開発力の強化を目指して新たに建設した開発センターを稼働させました。

この結果、当期の業績は、売上高123,492百万円(前期比17.1%増)、営業利益23,185百万円(同12.1%増)、経常利益23,025百万円(同11.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益17,155百万円(同22.1%増)と、いずれも過去最高を更新することができました。

今後もより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長

澤井 弘行

代表取締役社長

澤井 光郎



代表取締役社長
澤井 光郎

中期経営計画「M1 TRUST 2018」の
初年度として、生産・供給体制の強化、
新製品の積極的な開発・販売、研究開発拠点の
拡充など、同計画の目標達成に向けた
さまざまな施策を実施しました。

中期経営計画と中期ビジョン

当社グループ(以下当社)では、2015年5月に2015年度から2017年度の3か年を期間とする中期経営計画「M1 TRUST 2018」(以下中計)を策定し、市場環境激変の中で成長を続けられる企業体質への変革を目指して、さまざまな施策に取り組んでいます。

また当社は、中長期ビジョンとして2020年度には売上高2,000億円を達成し、同時にジェネリック医薬品の普及を通じて医療費削減に貢献することにより、世界から認知されるジェネリック企業を目指しています。

新たなジェネリック医薬品の使用促進目標

当社は、2013年4月に政府から公表された「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」で掲げられた、ジェネリック医薬品の数量シェア60%以上という旧来の政府目標に対し、生産能力の増強、研究開発の人員増、

製品開発の強化に取り組んできました。

しかしながら2015年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2015」(骨太方針2015)において、ジェネリック医薬品の数量シェアを「2017年央に70%以上とする」とともに2018年度から2020年度末までの間のなるべく早い時期に80%以上とする」という新たな目標が掲げられました。

生産能力増強への投資

当社の生産能力については、2016年3月期までに関東工場第2期工事の前倒しなどをはじめ、積極的な設備投資を実施し、年間生産能力約110億錠体制を構築しました。さらに、この新たな目標に対し、当社はジェネリック医薬品のリーディングカンパニーとしての安定供給責務を重く受け止め、さらなる積極的な投資により、今後の需要拡大に対応していきます。

▶業績の実績と今後の予想

	2015年3月期 実績	2016年3月期 実績	2017年3月期 予想
売上高	1,055億円	1,235億円	1,430億円
営業利益	207億円	232億円	250億円
当期純利益	141億円	172億円	185億円

まず、2015年4月に田辺三菱製薬工場株式会社から譲り受けた鹿島工場において、年間生産能力30億錠への増強を目指した設備投資を開始しました。また、包装能力の強化に向け、新包装工場・三田西工場の建設を進めており、2017年1月より出荷を開始する予定です。さらに、新しい工場の建設計画の立案に着手しており、生産能力のさらなる増強に取り組んでいきます。

研究開発力のさらなる強化

研究開発においては、2015年12月にはジェネリック医薬品として当社1社のみが承認を取得したラロキシフェン塩酸塩錠60mg「サワイ」や、開発難易度が高く競合メーカーが少ないメサラジン腸溶錠400mg「サワイ」、2016年3月に同じく競合メーカーの少ない男性型脱毛症用薬フィナステリド錠「サワイ」を上市するなど、他社の追従を許さない高い製品開発力を発揮することができました。また、2015年11月には大阪府吹田市に新たな研究開発拠点として開発センターを稼働させ、研究開発力を一層強化する体制を整えています。

さらに、流通の安定化や効率化を目指し、医薬品産業強化総合戦略の重点項目の一つとして掲げられている「製造番号・使用期限の変動情報を含むGS1データバー」

(新バーコード)については、2015年12月発売のセルトラリン錠「サワイ」から順次対応を開始、できる限り早期に全製品への対応を完了させる予定です。

中計の見直し

政府がジェネリック医薬品の新たな数量シェア目標を打ち出したことを受けて、今後もジェネリック医薬品の販売数量は大きく伸長するものと見られます。こうした環境変化を踏まえ、当社は、中計の見直しに着手しており、詳細が固まり次第公表する予定です。

株主さまへの利益還元

当期の配当については、中間配当は1株当たり55円、期末配当は当初予定より10円多い1株当たり65円とさせていただきます。次期の配当につきましては、中間・期末とも1株当たり65円を予定し、8期連続の増配を目指します。

今後も、新たな成長につながる投資と株主還元のバランスに配慮するとともに、毎期の業績などを総合的に勘案しながら、株主の皆さまに対する安定的かつ継続的な配当を行ってまいります。

企業

当社が6年連続1位 薬剤師が選ぶ好感を持つジェネリックメーカー

当社は、2015年11月、医薬専門誌「日経ドラッグインフォメーション」（日経DI）が実施した薬剤師対象調査「後発品企業ランキング2015」において、6年連続で1位に選定されました。当調査は、株式会社日経BPが発行する日経DIが、薬剤師を対象に2010年より毎年実施している調査で、6回目の今回は1,238名より回答を得ています。詳細な結果につきましては日経DI2015年11月号をご覧ください。なお、日経DI2015年12月号広告企画には調査結果を受けて、代表取締役社長 澤井 光郎のインタビューが掲載されました。



（日経DI 2015年12月号広告企画）

CSR

「沢井製薬 女性躍進行動計画」の策定

当社は、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」の制定にともない、女性が管理職として活躍できる雇用環境の整備を行うため、女性の活躍推進に向けた行動計画を策定しました。計画期間は2016年4月1日から2020年3月31日までとし、①職能等級があがるにつれ、女性割合が低くなる：②上司の評価、育成スキルに課題がある：③女性が将来キャリアを考える機会や適切な指導育成計画が不足している：などの課題を是正し、管理職に占める女性の割合を8%以上にしていきます。

■ 目標と取り組み内容

目標 管理職に占める女性割合を8%以上にする

取組 1 評価者教育の充実と徹底

取組 2 キャリア面談制度の導入による将来育成計画の充実

取組 3 管理職候補者群の成長、登用の進捗をモニター

新製品

沢井製薬では初めてとなる自由診療で使用される 医薬品(フィナステリド錠)を3月に発売

3月に発売した男性型脱毛症用薬のフィナステリド錠は、沢井製薬では初めてとなる自由診療で使用される医薬品です。男性型脱毛症は、遺伝や男性ホルモンの影響などが主な原因と考えられ、思春期以後の男性で頭頂～前頭の頭髮が薄くなるいわゆる若禿です。

成人男性の約3人に一人が男性型脱毛症になると言われ、薄毛に悩む男性は多くいるにもかかわらず、「どのくらい治療費がかかるかわからない。」など治療費を気にされ治療を受けていない人も少なくありません。

自由診療では、保険診療とは異なり全額自己負担とな



ります。そのため、患者さんにはジェネリックによる負担軽減をより実感していただけます。

また、自由診療では薬価基準(ジェネリックは先発の50%)がなく、販売価格を独自に設定することも沢井製薬にとって初めてのことです。

新製品

6月に、5成分9品目の新製品を発売予定

6月に発売するオランザピン錠／細粒は、「統合失調症」に加え「双極性障害における躁症状及びうつ症状」の適応も追加し、先発医薬品と適応症が同じになりました。先発医薬品が年間600億円と大型製品であるため、当社を含め22社が承認を得るという厳しい競争のなか、特にオランザピン錠「サワイ」は成分名と規格を両面に印字

し、薬剤師が使いやすく、患者さんが服用しやすい小型錠剤とするなど、差別化を図っています。このほか、OD錠ではじめてフィルムコーティングを施したエスエワン配合OD錠のほか、ビカルタミドOD錠、タルチレリンOD錠、セルトラリン錠100mgを発売する予定です。

▶主要新製品

薬効成分	製品名	製品写真
抗精神病薬	オランザピン細粒1%「サワイ」 オランザピン錠2.5mg、5mg、10mg「サワイ」	
代謝拮抗剤	エスエワン配合OD錠T20、T25	

薬効成分	製品名	製品写真
前立腺癌治療剤	ビカルタミドOD錠80mg「サワイ」	
経口脊髄小脳変性症治療剤	タルチレリンOD錠5mg「サワイ」	

連結財務諸表(要約)

連結貸借対照表 (百万円)

	前連結会計年度 2015年3月31日	当連結会計年度 2016年3月31日
【資産の部】		
流動資産	104,274	128,479
現金及び預金	22,603	33,096
受取手形及び売掛金	34,119	36,292
たな卸資産	44,663	55,668
その他の流動資産	2,887	3,422
固定資産	61,905	78,013
有形固定資産	54,700	71,843
無形固定資産	2,116	1,496
投資その他の資産	5,088	4,673
資産合計	166,179	206,492
【負債の部】		
流動負債	42,208	50,079
固定負債	11,571	30,692
負債合計	53,780	80,771
【純資産の部】		
株主資本	111,359	124,934
資本金	27,124	27,167
資本剰余金	27,596	27,799
利益剰余金	62,868	75,973
自己株式	△ 6,229	△ 6,006
その他の包括利益累計額	951	605
新株予約権	87	180
純資産合計	112,398	125,720
負債・純資産合計	166,179	206,492

連結損益計算書 (百万円)

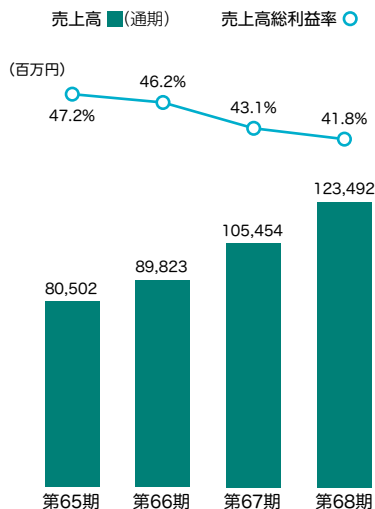
	前連結会計年度 自 2014年4月 1日 至 2015年3月31日	当連結会計年度 自 2015年4月 1日 至 2016年3月31日
売上高	105,454	123,492
売上原価	60,047	71,858
売上総利益	45,406	51,634
販売費及び一般管理費	24,718	28,448
営業利益	20,688	23,185
営業外収益	296	428
営業外費用	364	588
経常利益	20,619	23,025
特別利益	—	866
特別損失	322	800
税金等調整前当期純利益	20,297	23,091
法人税等	6,244	5,936
当期純利益	14,053	17,155
親会社株主に帰属する当期純利益	14,053	17,155

連結キャッシュ・フロー計算書 (百万円)

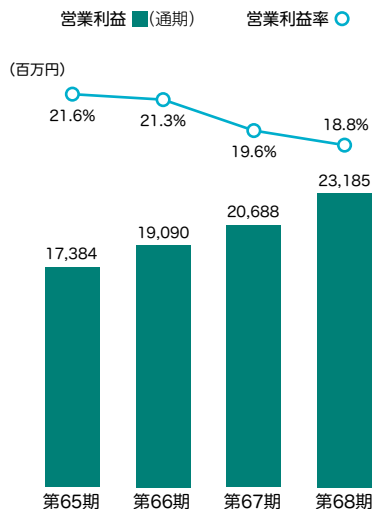
	前連結会計年度 自 2014年4月 1日 至 2015年3月31日	当連結会計年度 自 2015年4月 1日 至 2016年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,112	19,975
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 14,123	△ 22,937
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 921	13,473
現金及び現金同等物の増減額	△ 2,932	10,492
現金及び現金同等物の期首残高	25,536	22,603
現金及び現金同等物の期末残高	22,603	33,096

業績ハイライト

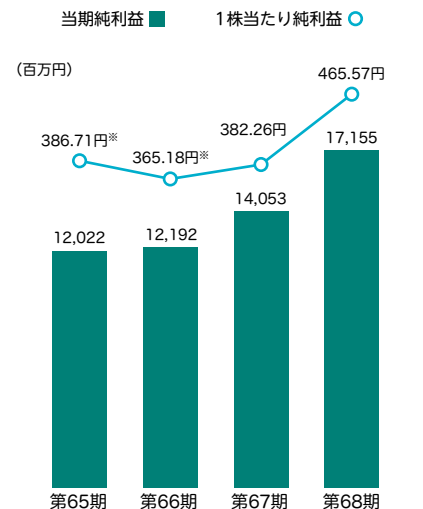
売上高／売上高総利益率



営業利益／営業利益率

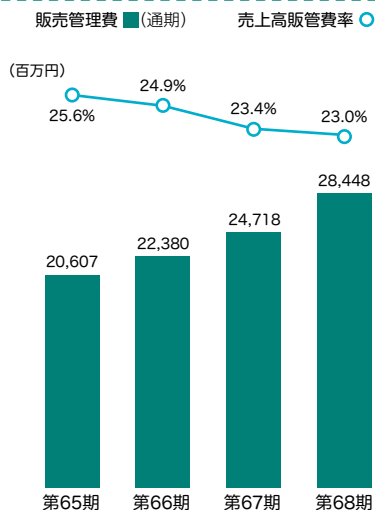


当期純利益／1株当たり純利益

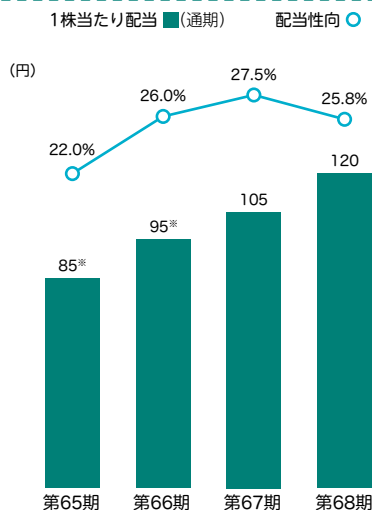


※一株当たり情報は、66期の期首に株式分割を行ったと仮定。
65期はその分割を考慮し、再計算した金額を掲載。

販売管理費／売上高販管費率

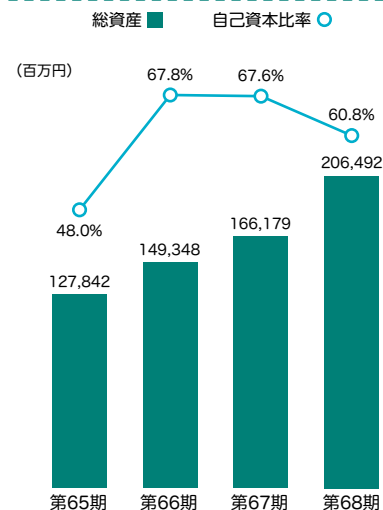


1株当たり配当／配当性向



※一株当たり情報は、66期の期首に株式分割を行ったと仮定。
65期はその分割を考慮し、再計算した金額を掲載。

総資産／自己資本比率



会社概要

会社の概要（2016年3月31日現在）

社 名	沢井製薬株式会社		
創 業	1929年4月1日		
設 立	1948年7月1日		
資 本 金	271億6,731万円		
従 業 員 数	1,490名(連結)		
事 業 内 容	医薬品の製造販売および輸出入		
販 売 品 目	生活習慣病(高血圧症、脂質異常症、糖尿病等)治療剤、 抗がん剤など医療用医薬品約670品目および一般用医薬品		
主要取引銀行	三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行		
ご 採 用 先	国立病院など全国約7,800病院(カバー率約93%)、 約34,000医院・診療所(約33%)、 および約55,000保険薬局(約93%)		
特約店および 販 売 代 理 店	特 約 店	アルフレッサ(株)、(株)スズケン、東邦薬品(株)、 (株)メディセオほか、卸約50社	
	販売代理店	西部沢井薬品(株)ほか販売会社約70社、海外1社	
提 携 会 社	旭化成ファーマ(株)、積水メディカル(株)、田辺三菱製薬(株)、 日本化薬(株)、バイエル薬品(株)、扶桑薬品工業(株)、 Meiji Seika ファルマ(株)ほか		

役員（2016年6月24日現在）

代表取締役会長	澤井 弘行	常務執行役員	木村 圭一
代表取締役社長	澤井 光郎	上席執行役員	稲荷 恭三
取締役常務執行役員	岩佐 孝	上席執行役員	高橋 嘉輝
取締役常務執行役員	小玉 稔	上席執行役員	徳永 雄二
取締役常務執行役員	澤井 健造	上席執行役員	末吉 一彦
取締役常務執行役員	徳山 慎一	執行役員	神 真喜夫
社外取締役	菅尾 英文	執行役員	佐々木雅啓
社外取締役	東堂なをみ	執行役員	濱田 輝
常勤監査役	松永 秀嗣	執行役員	寺島 徹
監査役	澤井 武清	執行役員	杉本 信子
社外監査役	高橋 孝志	執行役員	蓮尾 俊也
社外監査役	友廣 隆宣		

本社・事業所・グループ会社（2016年3月31日現在）

本社・研究所	大阪市淀川区宮原5丁目2-30
支店	札幌、仙台、北関東、東京第一、東京第二、 名古屋、大阪、広島、福岡
営業所	長野、東京西、横浜、厚木、千葉、静岡、 京都、神戸、北陸、高松、岡山、熊本
工場	鹿島、関東、大阪、三田、九州、第二九州
研究所	本社・研究所、開発センター
子会社	メディサ新薬(株)、化研生薬(株)、化研生薬(株)八郷工場

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
配当金受領株主確定日	毎年3月31日および中間配当を行うときは毎年9月30日
基準日	定時株主総会については3月31日といたします。 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒540-8639 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-782-031
公告方法	電子公告としております。ただし、事故やその他止むを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 ※ 公告掲載の当社ホームページアドレス http://www.sawai.co.jp/ir/

「配当金計算書」について

配当金支払いの際に送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告をなされる際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。(株式数比例配分方式を選択されている株主様は除きます)
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

株式情報 (2016年3月31日現在)

株式状況

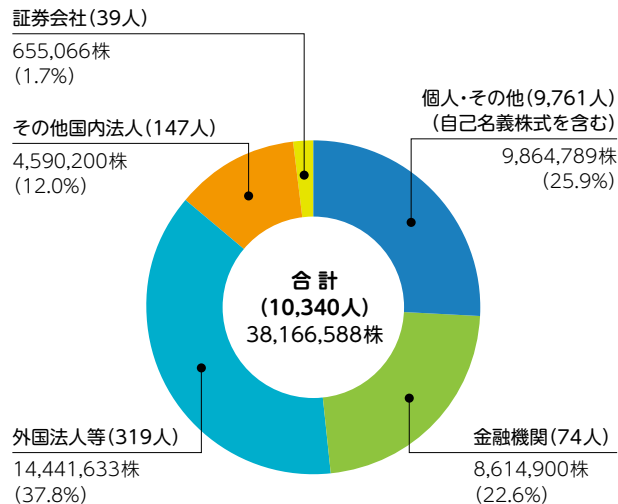
発行可能株式の総数	77,600,000株
発行済株式の総数	38,166,588株
1単元の株式の数	100株
株主数	10,340名

大株主

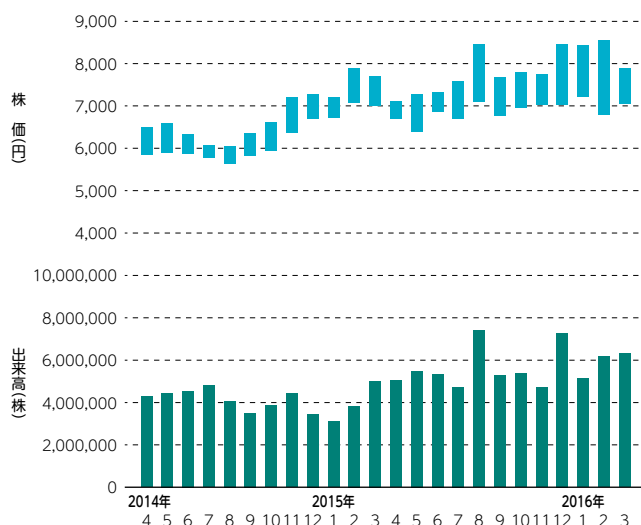
株主名	持株数
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	2,216,445株
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,818,800株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,463,800株
ザ バンク オブ ニューヨーク 133522	1,135,269株
ザ バンク オブ ニューヨーク ノントリーティー ジャスデック アカUNT	1,105,166株
サワケン株式会社	994,000株
澤井 光郎	948,200株
澤井 健造	854,000株
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニー レギュラー・アカウント	656,516株
株式会社三井住友銀行	650,000株

(注)当社は自己株式1,299,539株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。

株式分布状況



株価(高値・安値)および出来高の推移



コミュニケーション ひろば



CSRサイトリニューアル ～当社のさまざまなCSR活動をご紹介します～



当社のコーポレートサイト内にあるCSRサイトを全面リニューアルしました。

このサイトでは、年度毎の活動報告にとどまらず、事業活動を通じて社会的課題の解決に取り組む当社の姿勢をお伝えしていきます。

社長で、CSR委員長でもある澤井光郎より、当社が目指す姿や当社におけるCSRの定義、基本方針、推進体制、医療費節減への貢献額などを紹介するとともに、ISO26000の中核主題に沿って、社会と当社にとって重要で優先順位の高い課題への取り組みを紹介しています。

今後もコーポレートサイトを通じて、活動状況や皆さまのお役に立つ情報等を提供してまいります。



CSRサイトアドレス

<http://www.sawai.co.jp/csr/>



「2016国際親善女子車椅子 バスケットボール大阪大会」に協賛



障がい者スポーツの普及・発展と国際交流を目的として、今年で14回目の開催となる本大会に、スペシャルスポンサーとして協賛。2月11日から13日の3日間、1万人を超える来場者のなか、地元大阪で白熱した試合が繰り広げられました。世界の強豪女子チーム4カ国（日本、オーストラリア、イギリス、ドイツ）が参加。優勝を遂げたのはドイツで、日本は4位となりましたが、若手選手の活躍は2020年の東京パラリンピック大会に向けて、大いに期待できるものでした。

また、優勝決定戦の前には、キッズダンスやブラスバンド演奏などの様々なアトラクションも行われ、大いに盛り上がりしました。今後もこうした社会貢献活動を推進してまいります。



詳しくは

<http://www.osakacup.org/index.html>

沢井製薬株式会社

大阪市淀川区宮原5丁目2-30 〒532-0003

TEL: 06-6105-5711 FAX: 06-6394-7311

URL: <http://www.sawai.co.jp>